第5講

攻める志望理由書の思考法③ キャリアデザイン

チャプター1 志望先での学び・研究① リサーチデザインとの接続

チャプター2 志望先での学び・研究② 学修計画

答案例を見てみよう

○ メディア社会学科志望者の答案例

人々が幸せを感じて生きていくためにはどうすればよいのか。現代に生きる私たちは、常に時間に追われ将来に対して大きな不安を抱えながら生活しており、安心した精神状態を確保した生活は維持できていないように見える。私は、人々の幸福感を向上させるために何が必要か、社会学的、歴史文化的及び心理的側面から考察を深めるために貴学で社会学、特にメディアとこころとの関係性について学びたいと強く思う。

まず、日本を取り巻く社会状況について見ていきたい。日本の社会は、戦後の高度経済成長を経て、所属する会社組織を基盤とする経済的かつ雇用環境的な安定を重要視していた。そして、組織の規律に反する行動を取らない限り、年功序列や終身雇用が約束された。そのため、会社組織への帰順意識が強く求められると共に、失敗やそれに伴う減点の恐れが新しい挑戦を妨げる環境が根付いてしまった。そうした状況の中で会社中心の安定した環境が生活の中心となり、困った時に近所等で助け合うといった相互扶助は日本では必ずしも必要ではないと見なされるようになり、日本旧来の地縁、血縁、及び地域共同体による相互扶助は崩壊し、それには頼らない個人主義的な生活が目立ちつつある。このような社会状況の変化が、人々の抱く幸福感に大きく関与しているように思う。

私は、中学入学前の３年間を英国で生活していたが、その際、高齢のイギリス人女性が隣で一人暮らしをしていた。その女性は毎週通っ

ている教会を通じて慈善活動をしており、日々の生活に生きがいを感じとても幸せそうに見えた。イギリスを含む欧州諸国は、教会などの地域共同体が現在でも社会に深く根付いており、人々の幸福感の向上に関係しているものと思われる。一方で、日本の地域共同体による相互扶助の崩壊は、人々の幸福感に何らかの負の影響をもたらしていると考えられる。

また、私は中高６年間運動部に所属していたが、その部活は学内で最も上下関係が厳しいと言われており、先輩の指示には従わなければならないということが暗黙のルールとなっていた。大会出場にあたって、私は自分の役割が先輩の求める方向性と異なると感じた場合でも、正直に話してしまうとレギュラーを降ろされるのではないかという不安から自分の気持ちを押し殺してしまった。この時、私はより良い方向性にしたいが反抗してよいのかという葛藤が大きなストレスとなり、本来楽しいはずの部活動にもかかわらず、幸福感を得ることはできなかった。このことから、組織の規律に従う行動は、自分の意志に反して無理に行う場合、ストレスを感じ幸福感が得られないということが分かった。

ある学者は、現代を生きていく上で「認知的柔軟性」を身に付けることが重要であり、それが低い人はストレスをためやすく、モチベーションを上げることが難しくなると主張する。「認知的柔軟性」とは、新しいものや異質なもの、失敗などを受容することに伴う不安や恐怖といったストレスとうまく折り合いをつけ、これを新たな機会や学びのチャンスとして捉える脳の機能をいう。今日の日本の現状である地域共同体による相互扶助の崩壊に伴う会社組織への帰順は、自分の考えや主張を押し殺すことでストレスがかかるとともに、地域共同体による助け合いだけではなく、個人主義に基づく殺伐とした対応を重視していくこととなり、「認知的柔軟性」が欠落していく要因になる事が多いと考える。よって私は、「認知的柔軟性」を身に付けていくことが変化の激しい時代を生き抜き、幸せと感じながら生きていく鍵になると認識している。

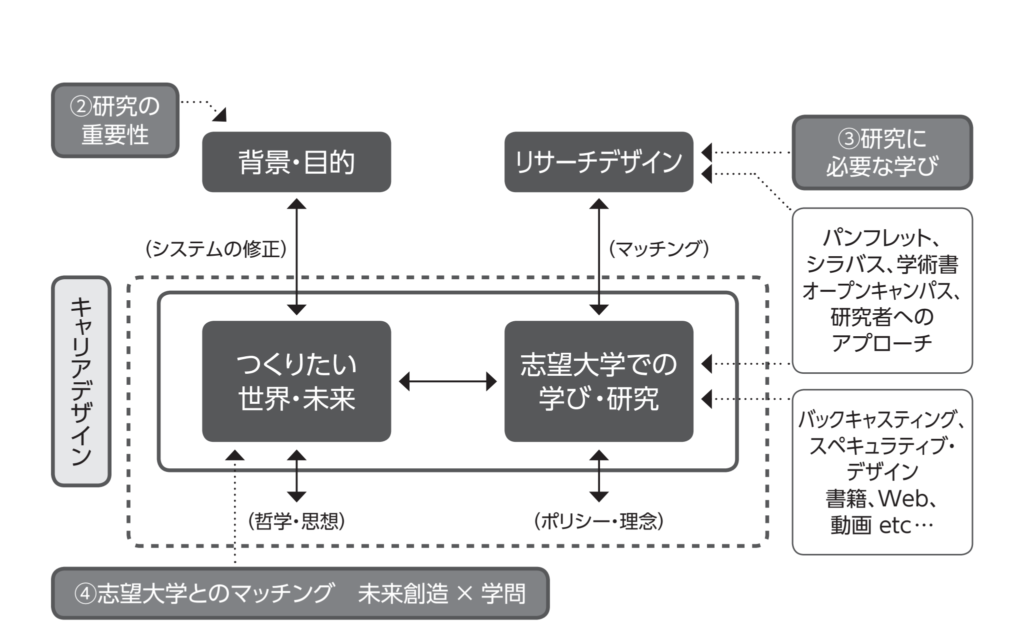
そのため私は、「認知的柔軟性」に関わる環境因子について、社会学的等の側面から考察しながらフィールドワークを通して地道に調査活動を重ねる必要があると考える。特に私の関心ごとであるスポーツやメディア、心の関係性について解き明かす場を求めている。これを行う場合、貴学の〇〇教授はメディアによる外傷性記憶を研究テーマとしており、私が理想とする「認知的柔軟性」の習得手法を探る際に、

メディアが与える心理的影響を探る上で必要な観点を学ぶことができると感じている。また、今後はグローバル化の進展につれて、メディアが伝えるメッセージに解釈の相違や、それによる摩擦を引き起こすことも懸念材料となる。国際コースでの学びを通して、そうした諸問題を引き受け、国際的かつ多面的な視点を養いたい。

　そして将来は、「認知的柔軟性」に関わる環境因子を明らかにした上で、幸福感を持つ事ができていない国内外の人々への支援を目的として、多くの人々が利用するテレビやインターネット、新聞などのメディアを通して発信していく担い手になりたいと思っている。そのために貴学社会学部メディア社会学科への進学を強く希望する。

生徒メモ欄

○ 志望理由構築の概念図



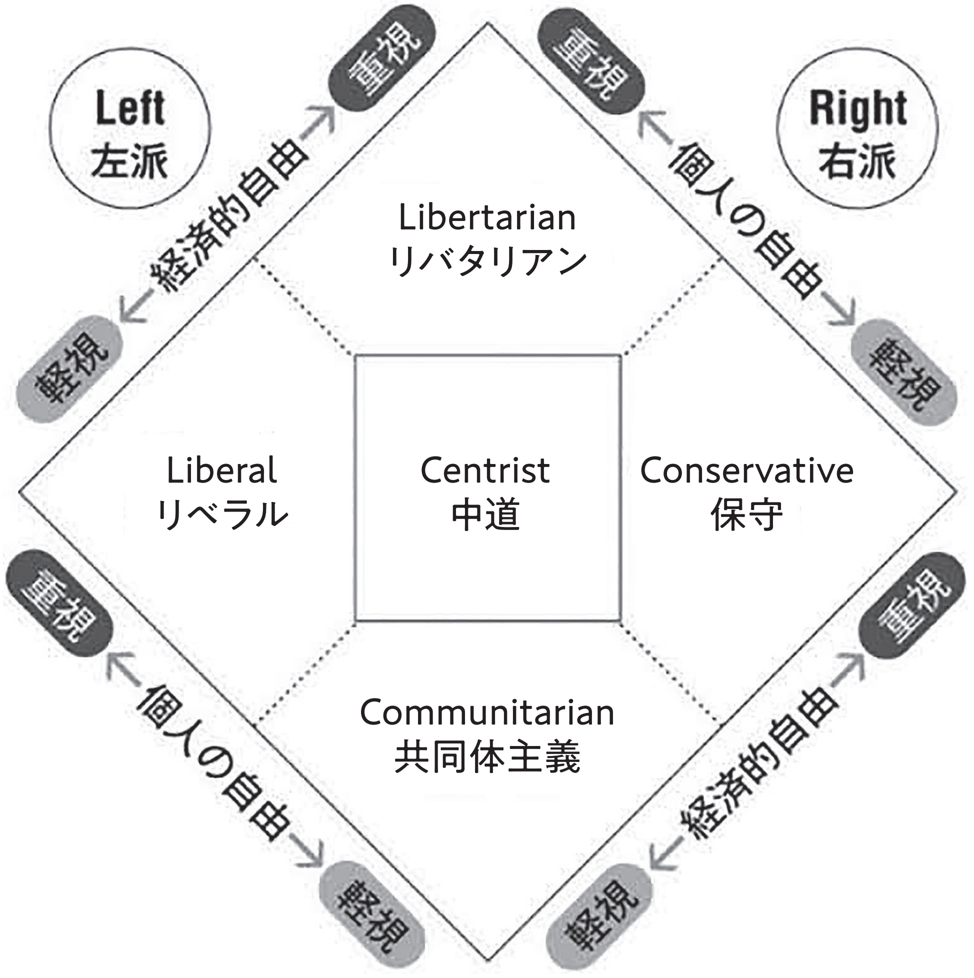
生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

つくりたい世界・未来① 多様化する世界と向き合う

○ノーランチャート



渡辺靖『リバタリアニズム-アメリカを揺るがす自由至上主義』(中公新書)p.83の図版をもとに加筆・修正

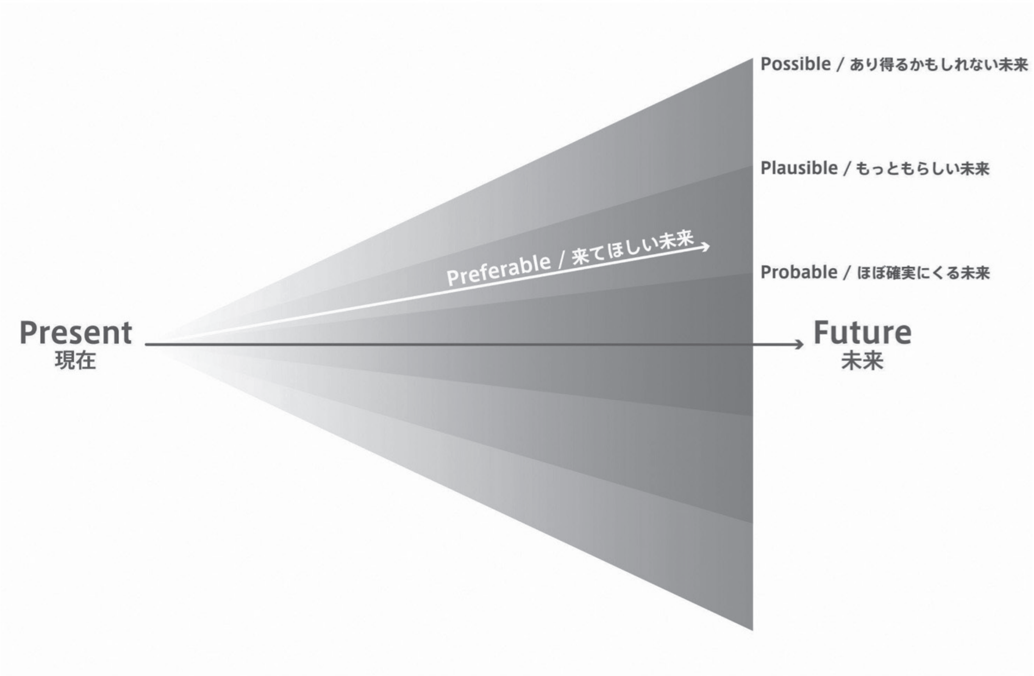
生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

つくりたい世界・未来② 来てほしい未来

○スペキュラティブ・デザイン



各務 太郎 「図　フューチャーコーン」

生徒メモ欄

教員記入欄